

2021年9月期 第2四半期決算短信〔IFRS〕（連結）



2021年5月14日

東

上場会社名 ナレッジスイート株式会社 上場取引所  
 コード番号 3999 URL https://ksj.co.jp  
 代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 稲葉 雄一  
 常務取締役執行役員コ  
 問合せ先責任者（役職名） 一ポレートビジネスユニット長（氏名） 柳沢 貴志（TEL）03-5405-8120  
 四半期報告書提出予定日 2021年5月14日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有（機関投資家、アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2021年9月期第2四半期の連結業績（2020年10月1日～2021年3月31日）

（1）連結経営成績（累計）

（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上収益		営業利益		税引前利益		親会社の所有者に 帰属する四半期利 益		四半期包括利益合 計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年9月期第2四半期	1,161	5.8	△80	—	△85	—	△76	—	△74	—
2020年9月期第2四半期	1,097	△0.4	102	30.6	98	35.3	107	109.8	113	121.8

	基本的1株当たり 四半期利益	希薄化後1株当たり 四半期利益
2021年9月期第2四半期	円 銭 △15.01	円 銭 △15.01
2020年9月期第2四半期	21.30	21.00

（2）連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率
2021年9月期第2四半期	百万円 2,721	百万円 929	百万円 929	% 34.1
2020年9月期	2,515	993	993	39.5

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2020年9月期	円 銭 —	円 銭 0.00	円 銭 —	円 銭 0.00	円 銭 0.00
2021年9月期	—	0.00			
2021年9月期(予想)			—	0.00	0.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2021年9月期の連結業績予想（2020年10月1日～2021年9月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		親会社の所有者に帰属する当期利益		基本的1株当たり 当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,408	13.7	31	—	26	—	10	—	1.95

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### ※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社(社名) — 、除外 一社(社名) —

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

① IFRSにより要求される会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2021年9月期2Q	5,161,100株	2020年9月期	5,105,200株
2021年9月期2Q	143株	2020年9月期	143株
2021年9月期2Q	5,125,485株	2020年9月期2Q	5,081,742株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(IFRSの適用)

当社は、2020年9月期第1四半期連結会計期間から国際財務報告基準(IFRS)を適用しております。

(決算補足説明資料の入手方法)

決算補足説明資料は2021年5月14日(金)に当社ウェブサイトに掲載いたします。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 要約四半期連結財政状態計算書	4
(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書	6
(3) 要約四半期連結持分変動計算書	8
(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(セグメント情報)	10
(重要な後発事象)	12

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う緊急事態宣言の解除により自粛・停滞していた経済活動が徐々に再開したものの、依然として景気の先行きは不透明な状態が継続しております。

当社グループが属する情報サービス市場は、新型コロナウイルス感染症拡大によるテレワーク等の働き方の変化や「デジタルトランスフォーメーション(DX)」への機運の高まり、SaaS認知の拡大から、企業の情報システム需要、IT人材不足による先端IT人材ニーズの広がりに加え、中堅・中小企業における生産性向上とサブスクリプションからなるクラウドサービス需要が引き続き拡大しております。

このような状況下で、当社グループは「Change The Business～中小企業のビジネスを変え、日本経済の活性化に貢献する～」を経営理念に、「脳力をフル活用できる世界～」を企業ビジョンに掲げ、中小企業のDX加速に向けた支援事業へ経営リソースを集中し、積極的な投資を推進してまいりました。

具体的には、売上拡大への貢献を可能にする統合型SFA/CRMクラウドサービス「Knowledge Suite(ナレッジスイート)」を中心としたサブスクリプションビジネスの拡大のため、将来の売上拡大を見据えた営業増員、プロモーションの強化、カスタマーサクセスへ導く導入コンサルティングを通じて、企業のDX推進を積極的に提案してまいりました。さらに、中長期的な収益の源泉となる先進技術を活用した次世代「Knowledge Suite(ナレッジスイート)」基盤の開発を推進してまいりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の業績につきましては、売上収益は1,161,046千円(前年同期比5.8%増)、営業損失は80,488千円(前年同期は営業利益102,123千円)、税引前四半期損失は85,071千円(前年同期は税引前四半期利益98,776千円)、親会社の所有者に帰属する四半期損失76,933千円(前年同期は親会社の所有者に帰属する四半期利益107,741千円)となりました。

なお、当社グループは、中堅・中小企業のDXを支援する事業へ注力するため、2020年10月1日よりDX事業へ経営資源を集中する組織体制へ変更したことに伴い、2021年9月期より報告セグメントを変更しております。

従来当社グループは、「クラウドソリューション」及び「システムエンジニアリング」の2つを報告セグメントとしてきましたが、第1四半期連結会計期間より「クラウドソリューション」事業のうち、今後注力する自社「SaaS」及び導入支援等の「カスタマーサクセス」に絞った「DX(デジタルトランスフォーメーション)」事業とし、それ以外のマーケティング/開発保守事業部分と従来の「システムエンジニアリング」事業を統合し、「BPO(ビジネスプロセスアウトソーシング)」事業に変更しております。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

#### ① DX事業

当事業につきましては、営業活動の可視化、営業活動の自動化を目指す法人向けマルチテナント型として開発した統合型営業・マーケティング支援SaaS(クラウドサービス)の開発・販売及び顧客企業のカスタマーサクセスへ導く導入支援サービスを展開しております。

当第2四半期連結会計期間においては、新型コロナウイルス感染症拡大によるオフラインでの展示会及びセミナーの縮小または延期が発生しましたが、感染症対策をきっかけとした中堅・中小企業の事業活動のオンライン化及びDX化ニーズの高まりを背景に、オンラインセミナー・オンライン商談の積極的な実施に加え、営業所を開設した中部エリアを含め全国に広げた販売パートナー拡販支援、トップセールスのオンライン商談録画を活用した営業教育、営業人員採用等、リード(見込み客)獲得から受注までのオンライン営業体制を強化し、月平均2,000件以上のリード(見込み客)獲得を維持しつつ、受注社数の最大化を図ってまいりました。なお前期末に実施したテレビ広告は一部の継続を除き終了いたしました。また、当社SaaS導入企業に対して、カスタマーサクセスを目的とした初期設定、操作方法の教育及びデータ項目の設計支援等の導入時の運用定着支援、及び顧客企業のSaaS運用課題の解決及び運用領域の拡張支援を目的とした運用支援活動を実施いたしました。

これらの結果、売上収益は413,244千円(前年同期比32.3%増)、セグメント損失は20,725千円(前年同期はセグメント利益102,215千円)となりました。

## ② BPO事業

BPO事業は、主に企業のマーケティング課題・システム課題を解決支援するWEBマーケティング支援、各種システムの受託開発・保守及び顧客企業へのシステムエンジニアリング（IT人材リソース）を提供するビジネスプロセスアウトソーシング事業を展開しております。

当第2四半期連結会計期間においては、新型コロナウイルス感染症拡大の影響によって見送られていた派遣先プロジェクトが徐々に再開し、エンジニアの稼働率の増加により回復基調に推移いたしました。また、受託開発案件における一時的な年度末の追い込み需要が発生いたしました。

これらの結果、売上収益は747,801千円(前年同期比4.6%減)、セグメント利益は108,487千円(前年同期比33.2%減)となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## (資産)

当第2四半期連結会計期間末の流動資産は1,222,672千円となり、前連結会計年度末に比べ123,226千円増加しました。これは主に、現金及び現金同等物の増加128,543千円によるものであります。

当第2四半期連結会計期間末の非流動資産は1,498,775千円となり、前連結会計年度末に比べ82,708千円増加しました。これは主に、無形資産の増加137,067千円、使用権資産の減少55,947千円によるものであります。

これらの結果、当第2四半期連結会計期間末の資産合計は2,721,447千円となり、前連結会計年度末に比べ205,935千円増加しました。

## (負債)

当第2四半期連結会計期間末の流動負債は1,064,418千円となり、前連結会計年度末に比べ150,771千円増加しました。これは主に、営業債務およびその他の債務の減少128,960千円、有利子負債の増加230,461千円によるものであります。

当第2四半期連結会計期間末の非流動負債は727,721千円となり、前連結会計年度末に比べ118,947千円増加しました。これは主に、有利子負債の増加176,243千円、リース負債の減少57,503千円によるものであります。

これらの結果、当第2四半期連結会計期間末の負債合計は1,792,140千円となり、前連結会計年度末に比べ269,719千円増加しました。

## (資本)

当第2四半期連結会計期間末の資本は929,306千円となり、前連結会計年度末に比べ64,784千円減少しました。これは主に、利益剰余金の減少76,933千円によるものであります。

これらの結果、親会社所有者帰属持分比率は前連結会計年度末に比べ5.4ポイント減少し、34.1%となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年9月期通期の連結業績予想につきましては、2020年11月13日に公表いたしました「2020年9月期 決算短信〔IFRS〕(連結) 1. 経営成績等の概況(4) 今後の見通し」をご覧ください。

なお、連結業績予想は現時点において入手可能な情報に基づき作成しており、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

## 2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：千円)

	注記	前連結会計年度 (2020年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年3月31日)
資産			
流動資産			
現金及び現金同等物		748,860	877,403
営業債権及びその他の債権		299,348	286,388
棚卸資産		449	782
未収法人所得税等		13,069	7,151
その他の流動資産		37,717	50,945
流動資産合計		1,099,445	1,222,672
非流動資産			
有形固定資産		61,494	58,805
使用権資産		383,857	327,910
のれん		328,206	328,206
無形資産		440,602	577,670
その他の金融資産	11	184,219	188,496
繰延税金資産		17,686	17,686
非流動資産合計		1,416,066	1,498,775
資産合計		2,515,511	2,721,447

(単位：千円)

	注記	前連結会計年度 (2020年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年3月31日)
負債及び資本			
負債			
流動負債			
営業債務及びその他の債務		250,134	121,174
契約負債		10,626	16,438
有利子負債	11	433,616	664,077
リース負債		117,484	117,178
その他の流動負債		101,785	145,550
流動負債合計		913,646	1,064,418
非流動負債			
有利子負債	11	304,050	480,293
リース負債		256,228	198,724
引当金		36,359	36,429
繰延税金負債		12,136	12,275
非流動負債合計		608,774	727,721
負債合計		1,522,420	1,792,140
資本			
資本金	8	681,106	700,501
資本剰余金	8	647,594	638,732
利益剰余金		△338,102	△415,035
自己株式	8	△192	△192
その他の資本の構成要素		2,685	5,301
親会社の所有者に帰属する持分合計		993,091	929,306
資本合計		993,091	929,306
負債及び資本合計		2,515,511	2,721,447

## (2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書

(要約四半期連結損益計算書)

(単位：千円)

	注記	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年10月1日 至 2020年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年10月1日 至 2021年3月31日)
売上収益	5, 6	1, 097, 031	1, 161, 046
売上原価		655, 826	721, 351
売上総利益		441, 205	439, 694
販売費及び一般管理費		392, 453	531, 107
その他の収益		53, 413	11, 480
その他の費用		42	556
営業利益 (△は損失)	5	102, 123	△80, 488
金融収益		404	4
金融費用		3, 752	4, 586
税引前四半期利益 (△は損失)		98, 776	△85, 071
法人所得税費用		△8, 964	△8, 137
四半期利益 (△は損失)		107, 741	△76, 933
四半期利益 (△は損失) の帰属			
親会社の所有者		107, 741	△76, 933
四半期利益 (△は損失)		107, 741	△76, 933
1株当たり四半期利益			
基本的1株当たり四半期利益 (△は損失) (円)	9	21.30	△15.01
希薄化後1株当たり四半期利益 (△は損失) (円)	9	21.00	△15.01



## (要約四半期連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	注記	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年10月1日 至 2020年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年10月1日 至 2021年3月31日)
四半期利益 (△は損失)		107,741	△76,933
その他の包括利益			
純損益に振り替えられることのない項目			
その他の包括利益を通じて公正価値で 測定する資本性金融商品	11	5,275	2,615
その他の包括利益合計		5,275	2,615
四半期包括利益		113,016	△74,317
四半期包括利益の帰属			
親会社の所有者		113,016	△74,317
四半期包括利益		113,016	△74,317

## (3) 要約四半期連結持分変動計算書

前第2四半期連結累計期間(自 2019年10月1日 至 2020年3月31日)

(単位:千円)

	注記	親会社の所有者に帰属する持分					合計	資本 合計
		資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	自己株式	その他の 資本の 構成要素		
2019年10月1日残高		664,174	652,558	△335,888	△192	△438	980,213	980,213
四半期利益(△損失)		—	—	107,741	—	—	107,741	107,741
その他の包括利益		—	—	—	—	5,275	5,275	5,275
四半期包括利益合計		—	—	107,741	—	5,275	113,016	113,016
新株の発行	8	3,860	3,860	—	—	—	7,720	7,720
株式報酬取引	8	12,682	△11,815	—	—	—	867	867
所有者との取引額等合計		16,542	△7,955	—	—	—	8,587	8,587
2020年3月31日残高		680,716	644,602	△228,147	△192	4,837	1,101,816	1,101,816

当第2四半期連結累計期間(自 2020年10月1日 至 2021年3月31日)

(単位:千円)

	注記	親会社の所有者に帰属する持分					合計	資本 合計
		資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	自己株式	その他の 資本の 構成要素		
2020年10月1日残高		681,106	647,594	△338,102	△192	2,685	993,091	993,091
四半期利益(△損失)		—	—	△76,933	—	—	△76,933	△76,933
その他の包括利益		—	—	—	—	2,615	2,615	2,615
四半期包括利益合計		—	—	△76,933	—	2,615	△74,317	△74,317
新株の発行	8	3,065	3,065	—	—	—	6,130	6,130
株式報酬取引	8	16,330	△11,926	—	—	—	4,403	4,403
所有者との取引額等合計		19,395	△8,861	—	—	—	10,533	10,533
2021年3月31日残高		700,501	638,732	△415,035	△192	5,301	929,306	929,306

## (4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 注記 (自 2019年10月1日 至 2020年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年10月1日 至 2021年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期利益 (△は損失)	98,776	△85,071
減価償却費及び償却費	59,171	108,385
金融収益	△404	△4
金融費用	3,752	4,586
投資有価証券売却益	△42,000	—
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△3,636	△333
営業債権及びその他の債権の増減額 (△は増加)	45,736	△12,718
営業債務及びその他の債務の増減額 (△は減少)	△57,808	△103,305
契約負債の増減額 (△は減少)	249	5,811
その他	18,565	36,759
小計	122,401	△45,888
利息の受取額	4	4
配当金の受取額	400	—
利息の支払額	△6,045	△4,861
法人所得税の支払額	△5,475	—
法人所得税の還付額	3,136	10,373
営業活動によるキャッシュ・フロー	114,421	△40,372
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△5,126	△28,929
無形資産の取得による支出	△106,223	△181,246
投資有価証券の取得による支出	△10,000	—
投資有価証券の売却による収入	60,000	—
その他	△28,647	25,170
投資活動によるキャッシュ・フロー	△89,997	△185,005
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	100,000	250,000
長期借入れによる収入	—	250,000
長期借入金の返済による支出	△93,296	△93,296
リース負債の返済による支出	△28,439	△58,913
株式の発行による収入	7,720	6,130
財務活動によるキャッシュ・フロー	△14,015	353,920
現金及び現金同等物の増減額	10,408	128,543
現金及び現金同等物の期首残高	993,599	748,860
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,004,008	877,403

(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

(1) 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっている事業セグメントを基礎に決定しております。

当社グループは、経営組織の形態、製品・サービスの特性及び販売市場の類似性に基づき、複数の事業セグメントを集約した上で、「DX事業」及び「BPO事業」の2つを報告セグメントとしております。

「DX事業」は、営業活動の可視化、営業活動の自動化を目指す法人向けマルチテナント型クラウドサービスとして開発した統合型営業・マーケティング支援SaaSの開発・販売及び顧客企業のカスタマーサクセスへ導く導入支援サービスを提供することで、中堅・中小企業のDXを支援する事業を展開しております。

「BPO事業」は、主に企業のマーケティング課題・システム課題を解決支援するWEBマーケティング支援、各種システムの受託開発・保守及び顧客企業へのシステムエンジニアリング（IT人材リソース）を提供するビジネスプロセスアウトソーシング事業を展開しております。

(2) 報告セグメントの変更等に関する事項

当社グループは、中堅・中小企業の「デジタルトランスフォーメーション（DX）」を支援するDX事業へ注力するため、2020年10月1日よりDX事業へ経営資源を集中する組織体制へ変更したことに伴い、2021年9月期より報告セグメントを変更しております。

従来当社グループは、「クラウドソリューション」及び「システムエンジニアリング」の2つを報告セグメントとしてきましたが、第1四半期連結会計期間より「クラウドソリューション」事業のうち、今後注力する自社「SaaS」及び導入支援等の「カスタマーサクセス」に絞った「DX事業」とし、それ以外のマーケティング/開発保守事業部分と従来の「システムエンジニアリング」事業を統合し、「BPO事業」に変更しております。

なお、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。

## (3) 報告セグメントの収益及び業績に関する情報

報告セグメントの会計方針は、「3. 重要な会計方針」における記載と概ね同一です。

報告セグメントの収益及び業績に関する情報は、次のとおりです。

前第2四半期連結累計期間(自 2019年10月1日 至 2020年3月31日)

	(単位：千円)				
	D X 事業	B P O 事業	合計	調整額	要約四半期 連結損益計算書 計上額
売上収益					
外部顧客からの売上収益	312,834	784,197	1,097,031	—	1,097,031
セグメント間の売上収益	1,522	5,026	6,548	△6,548	—
合計	314,357	789,223	1,103,580	△6,548	1,097,031
セグメント利益 (△は損失)	102,215	162,493	264,708	△162,585	102,123
金融収益	—	—	—	—	404
金融費用	—	—	—	—	3,752
税引前四半期利益 (△は損失)	—	—	—	—	98,776

当第2四半期連結累計期間(自 2020年10月1日 至 2021年3月31日)

	(単位：千円)				
	D X 事業	B P O 事業	合計	調整額	要約四半期 連結損益計算書 計上額
売上収益					
外部顧客からの売上収益	413,244	747,801	1,161,046	—	1,161,046
セグメント間の売上収益	570	51,619	52,189	△52,189	—
合計	413,814	799,420	1,213,235	△52,189	1,161,046
セグメント利益 (△は損失)	△20,725	108,487	87,761	△168,250	△80,488
金融収益	—	—	—	—	4
金融費用	—	—	—	—	4,586
税引前四半期利益 (△は損失)	—	—	—	—	△85,071

(注) 1. セグメント間の取引は市場実勢価格に基づいております。

2. セグメント利益 (△は損失) の調整額は、主に各報告セグメントに配分していない全社費用によるものであります。

3. セグメント利益 (△は損失) は、要約四半期連結損益計算書の営業損益と調整を行っております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。